☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

# 報道で見る氷上西高　２０１９

丹波新聞　令和元年７月２５日（木）

## ライフル射撃で全国へ

### 中垣君　芦田君　２人出場は氷上西高初

県3位で全国の切符をつかんだ中垣諒太君＝青垣町佐治、氷上西高で

氷上西高校ライフル射撃部の中垣諒太君（３年）と芦田太一君（同）が、「全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会」（7月28日―8月1日、広島県安芸太田町）に出場する。同部から3年連続の全国で、2人が出場権を得るのは初めて。

ビームライフル（光線銃）で10㍍先の的を目がけ、45分間で60発を撃つ。県予選で中垣君は3位（６０３・５点）、芦田君は5位（５９７・８点）に入り、中垣君は2年連続、芦田君は初の全国の切符を手にした。

県予選後行われた近畿大会では、中垣君は5位（６１２・６点）、芦田君は14位（５９８・１点）だった。

直径1㍉の「10点」の的の中心を射抜くと最高で10・9点。ミスを少なく、10点以上をどれだけ出せるかが成績を左右する。

中垣君は「ミスを減らすことに重きを置いて練習してきた。公式戦自己最高の６２０点を出し、有終の美を飾りたい」と言い、芦田君は「的の同じ所に当て続けるイメージで練習してきた。６０５点を超え自己ベストを更新したい」と抱負を述べた。

同部は県予選に初めて団体戦で出場。2人に、武山修也君（同）を加えた3人で戦い、惜しくも神港学園に敗れ2位となり、「1枠」の団体での全国出場に届かなかった。（足立智和）